

市民との共同で市政を動かす!

子どもから高齢者まで
住みよい千葉市に



就学援助 小学校入学準備金の3月支給改善へ予算化

中学校新入学の学用品費支給時期の前倒しに続き、小学校についても来年3月に支給がされることとなります。対象世帯をひろげるためにも、引き続き、改善を求めています。

特別養護老人ホームの増設で、安心して暮らせるまちに

党市議団は毎年予算要望を行い、特別養護老人ホームの増設を求めています。今年度には5施設の建設費助成のための予算が計上されました。

災害用マンホールトイレ 年間10か所から20か所へ拡充

党市議団は、災害用マンホールトイレ増設を求めて、昨年度までに市立小中学校61か所に整備されました。新年度はさらに、これまでの年間計画10か所から20か所へ整備箇所数を増やすことになりました。首都直下地震が想定されている中、児童・生徒が就学中に被災することも想定することも考えると、早急に市内すべての学校への整備が求められます。

ひどい!? 「脱・財政危機宣言」の解除後、大型開発推進と弱者切り捨て

昨年、「脱・財政危機宣言」を解除した途端、新年度予算案には大型開発につながる予算が数多く計上されました。

市民の理解が得られていない新庁舎整備や仮称千葉公園ドーム(競輪場)の整備を進め、千葉駅周辺の開発に偏重するなど、市民の願いに背を向けた予算編成と言わざるをえません。



市の新庁舎整備予想図



千葉公園ドーム(250競輪)イメージ図

在宅高齢者等おむつ給付も削減

昨年の12月議会で、心身障害者福祉手当を削減し、今度は、高齢者等の紙おむつ給付の所得制限を強め3,894人の支援が打ち切られます。理由は、他の福祉施策充実のためとしていますが、「福祉を必要とする弱者から支援を取り上げ、他の弱者へ配分する」ような発想は容認できません。大型開発事業にお金を注ぐより、福祉予算全体を増やすことが必要です。

【所得制限：年収518万円以下(現在)⇒134万円以下(新年度)】

	受給人数	おむつ給付数(月)	現在1割負担	所得制限見直し(新年度)
要介護1	1,317人	約48枚	400円	4,000円
要介護2	1,527人	約48枚	400円	4,000円
要介護3	1,295人	約48枚	400円	4,000円
要介護4	1,253人	約100枚	800円	8,000円
要介護5	914人	約100枚	800円	8,000円
合計	6,306人			3,894人(62%)

(枚数は利用者によって差があります) **おむつ給付ゼロ**

党市議団

不要不急の大型開発は中止・見直しを 市民の願い実現へ 予算組み替えを提案

新年度予算は、地方自治の本旨「福祉の増進」や、千葉市基本構想の理念とする「人間尊重、市民生活優先」に反しており、市民理解は得られません。

党市議団は、大型開発などを見直して財源を確保し、医療・福祉・子育て支援事業への組み替えを求めました(右表参照)。しかし、他党派の反対で否決されました。

予算組み替えの財源

- 新庁舎整備 4,200万円
- 競輪場再整備 9億3,020万円
- 中央公園・通町公園連結 8億4,070万円
- 都心副都心の整備 13億1,495万円
- 稲毛海浜公園リニューアル 18億8,020万円

予算組み替えの内容

- 施策見直し・料金改定の中止
- 在宅高齢者等おむつ給付を現行どおり
 - 心身障害者福祉手当を月5千円⇒月7千円
 - 介護保険料値上げ中止
- 事業の復活・充実を図る施策
- 子どもルームの整備・拡充
 - 学校普通教室にエアコン設置のための基本設計
 - 長寿祝い金復活
 - 高齢者の公共交通機関利用へ補助